

がん検診再受診勧奨事業における実施状況

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
実施内容	意識調査（アンケート）・受診勧奨	個別通知による再受診勧奨		個別通知（圧着ハガキ）による再受診勧奨
対象がん	5がん（胃・肺・大腸・子宮・乳）	乳がん	子宮がん	5がん（胃・肺・大腸・子宮・乳）
対象者	30～69歳の男女の中から、無作為に抽出した者	前年度乳がん検診未受診の、62・64歳の女性 21年度の調査により、60歳代の受診率が低かったため	前年および前々年度子宮がん検診未受診の、34・39歳の女性 30歳代の罹患率が高まっているため	・24、29、34、39、44、49、54、59歳の区民（20歳代は女性のみ） ・過去3年間、対象となるがん検診全てを受診していない者
	合計： 4,000人	合計： 7,758人	合計： 9,770人	合計： 約46,000人
効果	区民のがん検診受診状況、受診意図、検診の認知度などが明らかになった。	【受診率】 21年度61歳：7.3% 22年度62歳：15.2% 7.9ポイント増 21年度64歳：7.2% 22年度64歳：20.4% 13.2ポイント増	【受診率】 対象者（34・39歳2年以内未受診）11.1% 非対象者（33・38歳2年以内未受診）7.6% 3.5ポイント増	【目的】 がん検診を受診する習慣がないと思われる者に対して、個別に再勧奨することにより、がん検診の必要性の認識と意識の醸成を図り、受診率の向上を目指す。 10月29日発送予定